

基本情報							
教科・科目	理科2	・授業で使用するもの 教科書 学校図書館「中学校科学」「中学校科学2」 問題集 教育開発出版株式会社「中学の生物」 資料集新学社「グラフィック理科資料集」					
担当者	古城戸 香苗						
評価割合(試験:試験外)	試験: 6 試験外: 4						
年間を通じて教科で培う力	鍛錬(知識及び技能)	生物の特徴や性質を理解するとともに共通性や多様性に着目する視点を養い、日常生活においてもさまざまな視点から特質や事象を観察し規則性や関係性を見出すことができる。					
	理知(思考力・判断力・表現力等)	共通性や多様性に気づくとともに、規則性や関連性を見出した事象と周囲の事象との関連を分析して解釈して思考することができる。					
	探究・献智(主体的に学習に取り組む態度)	身近な生物の形質や細胞の観察を通して生物に関する興味関心を高め、学習内容をもとに日常生活の生命の諸現象を説明しようとする。					
学習情報							
月	回	単元(学習)目標	単元目的(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント	
4	4	科学1 身近な生物の観察	鍛錬) 植物の細胞まで観察するために、観察・実験を通して実験器具を正しく使用し、観察対象を観察することができる。	◦回転寿司ネタの分類分け 分類を行うために重要な視点を探る	講義 フィールドワーク 観察・実験 グループ活動	・授業成果物提出 ・レポート内容 ・グループ相互評価	
5	5		理知) 形質と生存との関係について想像するために、花を構造的に理解するとともに、それぞれの部位の形状と役割を説明することができる。	◦植物の観察 花のつくり、葉の形状・生え方、根の種類、花粉の運び方、似ている植物(じゃがいも、さといも、さつまいも、山芋)の区別を植物のつくりをもとに考える			
			探究・献智) 身近な生物の観察を通して、生物に対して積極的に関わろうとする。	◦校内マップ作成 植物の分類に基づいて校内の植生を調べる。			
6	定期試験① 令和7年 6月2日―6月4日 範囲) 身近な生物の観察						
6	科学1 植物の分類	鍛錬) いろいろな生物の比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身につけることができる。	◦植物の分類表 多様な植物の特徴をもとに、基準を明確にしながら表の作成を行う。	講義 グループ活動	・授業成果物提出 ・グループ相互評価 ・小テスト		
7							
7	定期試験② 令和7年 7月9日―7月11日 範囲) 植物の分類						
8	科学1 植物の分類	鍛錬) いろいろな生物の比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身につけることができる。	◦生息環境と植物の生存戦略 バイオームを構成する植物と聖光学院の周辺に生える植物との相違点について探る	講義 ディスカッション	・授業成果物提出		
9	科学1 動物の分類	鍛錬) いろいろな生物の比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身につけることができる。	◦動物の分類 脊椎動物、無脊椎動物の分類 生活環境や形態、子の産み方、体温の保ち方	講義 グループ活動 実験	・小テスト・授業成果物提出		
10							
	定期試験③ 令和7年 10月20日―10月22日 範囲) 植物の分類・動物の分類						
11	科学2 生物のからだと細胞	鍛錬) 動物と植物の違いを理解するために、細胞レベルで見た生物の共通点と相違点に気づき、生物のからだの作りとはたらきの規則性と共通性を見出すことができる。	◦動物と植物の違い 独立栄養生物、従属栄養生物 ◦植物のつくりとはたらき 植物はどこから水を取り入れてどう移動し全体に届けるのか、植物が吸い上げた水はどの後どうなるのか ◦植物の細胞の観察	講義 観察・実験	・小テスト ・レポート内容 ・授業成果物提出		
12						理知) 実験結果を通して、生物学的な「生きる」について自分の言葉で説明することができる。	◦光合成 デンプンの形成、二酸化炭素を吸収
12						定期試験④ 令和7年 12月10日―12月12日 範囲) 生物の体と細胞	
1	科学2 動物のつくりとはたらき	鍛錬) 動物の体内で起こる消化について実験を基に説明することができる。	◦消化のしくみ 唾液の分解実験、酵素のはたらき、化学反応の促進、養分の運搬と吸収 ◦血液の循環 メダカなどの血流の観察、血液の観察、呼吸の仕組み	講義 観察・実験	・レポート内容・授業成果物提出		
2							
2	理知) 唾液中のアミラーゼによってデンプンが変化するのはどのような実験で確かめられるのか 実験計画を立てることができる。					◦からだが動くしくみ 情報を受け取ってから行動が起こるまでの流れ、反応実験、反射	講義 実験
3	定期試験⑤ 令和8年 3月4日―3月6日 範囲) 動物のつくりとはたらき						